

碧南ロータリークラブ週報

第2396回例会 平成20年2月6日(水)

● 会長 鈴木 敏弘 ● 幹事 石橋 嘉彦 ● 会場監督 (SAA) 新美 宗和

■ 例会日 毎週水曜日 12:30

■ 例会場 碧南商工会議所ホール

■ 事務局 碧南商工会議所内

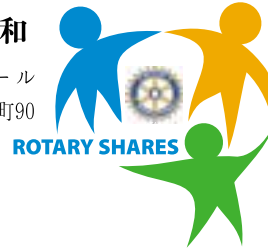
〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90

TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100

ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp/>

E-mail: info@hekinan-rc.jp

■ 会報委員 新美 惣英・長田 和徳・平岩 辰之・杉田 茂



2007~2008年度
国際ロータリーのテーマ

**ロータリーは
分かち合いの心**

● 斉 唱

国歌「君が代」

ロータリーソング「奉仕の理想」

● 四つのテストの唱和

● 本日のメニュー

和風弁当 大正館



鈴木 敏弘会長

会 長 挨拶

立春も過ぎましたが、まだまだ寒い毎日が続いております。風邪には十分注意して頂きますようお願い致します。

今月は世界理解月間であります。この月間は1905年2月23日ポール・ハリスを含め4人の方がシカゴで初めて会合を開いた日で、この日をロータリーの創立記念としています。よって2月は、「世界理解月間」と指定されています。この月間中ロータリークラブは世界平和に不可欠なものとして理解と善意を強調するクラブ・プログラムを行うよう要請されています。その一環として今日はRI第2760地区世界社会奉仕委員会委員長の籠橋美久さんに卓話の講師としてお越し頂いております。どうぞご聴講頂きますようお願い致します。

今回はフィジー共和国の国旗と国情そして私の知人より聞いております思い出の話をさせて頂きます。フィジーは地図でどこにあるか知って見えますか？オーストラリアの東、ニューカレドニア・バヌア、サモア諸島のところ近くの南太平洋南部の楽園のイメージで日本にもなり染めのある島国であります。面積は日本の四国とほぼ同じであり、1874年～1970年の約1世紀にわたって英国領であったことから国旗にも英国の象徴のユニオンジャックを用いています。イギリスの植民地時代サトウキビの生産が主要であった為イギリス人によってインドから労働者として送り込まれ現在ではインド人がやたらと目に着きサリーを着た人、カレー屋さん、ヒンズー教寺院などすっかり南国の楽園のイメージが消えているそうです。以前10年前は名古屋からニュージーランド航空が就航し多くの方が観光に訪問していましたが、クーデターが発生し一時政情不安の状態が寄航が中止となり今では大変不便となり、成田からしか直行便が就航せず中々行けない国になっているようです。フィジーは東側と西側で気候が極端に異なり西側は国際空港がありナンディーで観光リゾートが多くゴルフ場やビーチリゾートに諸外国より観光客が多く来ています。

PGAゴルフでよく優勝したビージェイ・シンもこの国の出身として有名な人です。一方東側

は首都スバがあり商業中心で賑やかなところで年中雨が多いそうです。ゴルフ場もありますが、雨が多い為にフェアウェイでもボールが土の中に埋まってしまう事もあるそうです。こちら側は首都スバ観光の方が良いようです。

私の知人が心に焼きついた思い出はタクシーで観光の移動中、物凄い黒雲が空一面覆いバケツをひっくり返したような強い雨に会いスピードを落としながらホテルへ向かう海岸道路の沖合1km程沖に2本の竜巻を目にし、ドライバーに見晴らしの良い高台に車を止めてもらい竜巻見学をしカメラで写真に撮ることが出来ました。その時ほんの100m程の近くを1本の竜巻が通って行くのを危険も感じず興奮しながら見とれていたと言っていました。一度機会がありましたら皆さん行かれてはと思った次第です。今日もどうぞ宜しくお願いします。

幹 事 報 告

- ・他クラブの例会変更等は幹事報告書の通りです。
- ・2008年～2009年度ロータリー手帳のお買い上げ申込用紙を回覧致します。
- ・本日例会終了後201号室にて第8回理事会を開催致します。



石橋嘉彦幹事

委 員 会 報 告

〈出席奨励委員会〉

〈雑誌委員会〉

青木 稔君

ロータリーの友2月号15ページ歌壇入選歌

小舟にはふたつみつ程影ゆらぎ雨の湖水に投網打つらし

黒田 泰弘君

ロータリーの友2月号21ページ私の宝物

1914(大正3)年に完成した赤れんが建築の代表ともいえる東京駅のジオラマ玩具

〈ニコボックス委員会〉

地区WCS委員会 籠橋美久様 世界理解月間に際し、卓話の機会を頂き、ありがとうございます。

原田 達八君 講師の籠橋さんをご照会します。

小笠原良治君 本日今まで市役所で「碧南美人」のキャンペーンに参加して来ました。生産者の生き生きした姿を見て改めて、日本農業(地元農業)の力強さを感じました。中国農業には絶対負けません。!!

木村 徳雄君 今年も車山高原にて第47回碧南市民スキー大会が無事に終わりました。ちなみに私は壮年2部にて2位入賞しました。感謝。

杉浦 昌裕君 2月3日愛知建築士会碧南支部50周年記念式典にて感謝状を頂きました。先日、奥田先生夫妻と楽しいひとときを過ごさせて頂きました。

黒田 泰弘君 ロータリーの友21ページに掲載して頂きました。

市川 裕介君 昨日は衣浦グランドホテルさんで、碧南三菱東京UFJ懇話会の総会が無事に終了致しました。大変有り難うございました。

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

今年度下記の方にロータリー財団、米山祈念奨学会にご寄付頂きました。有り難うございました。
ロータリー財団寄付 永坂 隆一君、長田 徳雄君、井上 達夫君、長田 昌昇君、
原田 達八君、鈴木 敏弘君、新美 雅浩君、長田 和徳君、

堀田 益隆君、
米山功労者寄付 井上 達夫君、池田 弘孝君、吉井 才司君、小笠原良治君、
木村 徳雄君、竹下 豊君、長田 銑司君、倉内 裕君、
新美 真司君、伊藤 正幸君

〈親睦活動委員会〉

会員誕生日

4日 杉浦 昌裕君 5日 森田 雅也君 5日 新美 雅浩君
9日 石川八郎右衛門君 16日 平岩 辰之君 18日 植松 敏樹君
25日 杉浦 昇一君 26日 伊藤 正幸君

奥様誕生日

1日 中根 佑治君の奥様 澄恵様 3日 高瀬賢一郎君の奥様 明子様
5日 新美 雅浩君の奥様 美由紀様 15日 新美 惣英君の奥様 直美様
20日 石橋 嘉彦君の奥様 里美様

結婚記念日

11日 平岩統一郎君・和恵様 30年 11日 新美 宗和君・雅代様 28年
16日 竹下 聡君・美也子様 17年 26日 榊原 健君・陽子様 32年
28日 長田 銑司君・美代子様 45年

クラブフォーラム

「WCS活動について」

RI第2760地区世界社会奉仕委員会 委員長 籠橋美久氏

本日は、貴重なお時間をいただくと共に、お話をさせて頂く機会を頂き誠に有難く感じております。

WCSとは何かというご質問が多々御座いますので、この事柄からご説明させていただきます。

まず第1に、WCS活動とは？

大きなプロジェクトとして3つ御座います。第1に保健、第2に水保全、第3に識字率の向上を挙げRIが強調しているプロジェクトの遂行を通じ「世界平和」という大義を推進することを目的としての活動であります。これらの項目の内容、当地区としての活動を説明致します。

第1に保健について、海外で活動の医療機関、医師団に対する援助を致しております。これらの現在の主たる事業としては、ポリオの撲滅であります。

第2水保全は、海外での計画中の飲料水、生活水等の援助。例えば、井戸の掘削支援、雨水を利用した水道施設等への支援。

第3は、識字率の向上であります。海外における教育関係書籍、文具類の提供、学校施設の建設支援を行います。当地区は、これらの活動の中でも第3番目に挙げた識字率の向上に関し、後ほど報告させていただきます「ラオスへの小学校建設支援」のプロジェクトを行っています。

以上3項目の各プロジェクトの提案、提供及び取りまとめを世界社会奉仕委員会の活動を致しております。

次に、地区社会奉仕のあゆみについてお話しします。

1. 世界社会奉仕の生い立ち

1962年アジアからの最初のRI会長に就任されたインドの「ニッティシ ラハリ氏」によって提唱されたのが始まりで、当2760地区は、1967年10月名古屋で開かれた地区大会の決議において世界社会奉仕委員会が設立された。



1992年度から日比、日泰、愛知ロータリー奨学基金がスタートし、その運用益にて毎年、小学生に渡されておりました。

現在は、タイ3360地区のみ継続されております。

この奨学基金贈呈式の模様は、後で報告させていただきます。

次に、活動実例報告をさせていただきます。

先程述べさせていただきましたが、まずは、3360地区愛知奨学基金への支援、ナタック村小学校建設支援として、去る1月21日より1週間の予定にて、タイ（チェンマイ）ラオス（ルアンプラバン）へ江崎ガバナー、ロータリアン30名の参加により基金贈呈式、小学校建設引渡し式を行って参りました。

この模様を順次説明をします。

愛知奨学基金贈呈式は、1月22日に3360地区ガバナー、ロータリアン多数の参加により、行われました。この中で、江崎ガバナーから10万円の寄付金が渡され、3360地区ガバナーよりお礼の挨拶が御座いました。

この基金は、タイ国王の特別なる計らいにより高利子により運営されており、毎年当地区の70名程の小学生へ一人当たり9,000円が渡されました。

また、この他、ブラサカセム小学校、ビアサライ小学校へWCS活動として、出向き学用品、机、椅子等の支援の確認をして参りました。

次に、ラオス共和国へ支援として1月23日ラオス(ルアンプラバン)へはいました。このラオスへ最初の訪問は、4年前にタイ(チェンライ)からラオス(ルアンプラバン)へメコン川を船（ジャンク船）で下ること約12時間を駆けラオスに渡り、大変な思い出が御座います。現在は、空路を利用しております。

翌日ナタック村へ小学校建設引渡し式に参加するべく車にて約3時間半を駆けて参加して参りました模様を写真にて報告させていただきます。

日本側からの参加者は、日本大使館大使代理、JAICAラオス事務所次長、専門官、2760地区ロータリアンが参加しました。また、ラオス側からは、サイニャブリー県副知事、教育局長、ナタック村村長、小学校校長、住民多数が参加。

今回は、タイ側から3360地区ガバナー（チェンマイ）、3330地区ガバナー（プーケット）、ロータリアン多数が参加し盛大に行われました。

これらの模様は、写真集をご覧ください。

この中で、学用品、衣類等を小学生、村人に贈呈して参りましたが、これらの品は、当碧南ロータリークラブの皆様から頂きました物をお渡しして参りましたので、ここにご報告させていただきます。この度は、皆様の心温まる品の拠出心より御礼申し上げます。

なお、このラオスへの支援は、過去3年前からJAICAを通じての小学校建設を実施することが出来ました。今年度で3校目となりましたこと、心より御礼申し上げます。これからも、地区社会奉仕委員会一同協力し、より良いWCS活動を目指しますので、今までより一層のご支援、ご協力をお願いします。

次に、今後のWCS活動としての説明をさせていただきます。

WCS活動は、クラブ独自の活動を基本としますが、プロジェクトの実行に際し、大きなクラブは、独自で実行可能であると考えますが、小規模クラブは独自の推進は困難と考え、これらのことを踏まえ、地区WCS委員会が提供するプロジェクトに参加をして頂ける様にして参ります。

また、いろんなプロジェクトを実施するに当り、資金面に無理が生じることが、しばしばで御座います。これらを解決するため、募金活動を再開するべく計画します。

他国地区との連携を今までより一層の強化を図り、円滑なるプロジェクトの情報交換、実施等を行いたいと計画して参ります。
ご静聴ありがとうございました。

次回例会案内 平成20年2月20日（水）
「わたしの半生と12年間」 碧南市長 永島 卓氏